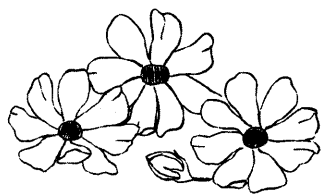


夜風の刻

宮坂静生



雀らも飛ぶより転まろぶ山の盆
樺火焚くよしなしごとをことし尚
光より軽ろき玉虫なきがらは
玉虫は辛苦の父母の転生か
糠味噌の深海の夢敗戦忌
糠味噌が湧き甲子園球児灼け

横須賀五句

潜望鏡開けてください露の沖
軍艦の行き来八月海の創
丘一つ防衛大学の茂み
海に蟬鳴き出し孵空に途ぢ
黒揚羽ほどたくましき羽ばたきを
秋の波持て来し音を置いて曳き
盆過ぎの夜風ざらざら快こころよき

悼 立岩真也(六十二歳・七月二十一日)

佐渡一の男銀河も弱者のもの